

Akane Kawakami (ロンドン大学) 講演会

「いつもパリ：パトリック・モディアノの近年の作品における 時間とエクリチュールの永劫回帰」

*

Conférence de Dr. Akane Kawakami

« Toujours Paris : L'éternel retour du temps et de l'écriture
dans les récentes œuvres de Patrick Modiano »

2014年度ノーベル文学賞を受賞したフランスの作家パトリック・モディアノ(1945~)はデビュー作『エトワール広場』(1968)以来、最新作『きみが迷子にならないように』(2014)にいたるまでたえず時間や記憶を主題にした小説を書き続けてきました。本講演では、フランス語圏現代文学を専門とし、2000年にモディアノ論 *A Self-conscious art : Patrick Modiano's Postmodern fictions* (Liverpool University Press) を刊行したロンドン大学准教授のAkane Kawakamiがモディアノの近年の作品におけるパリというトポスと時間との関係に迫ります。



講演者： Akane Kawakami (ロンドン大学)
コメンテーター： Kohei Kuwada (東京大学)
モデレーター： Fabien Arribert-Narce (青山学院大学)

日時：2015年4月9日(木) 17:00~19:00

場所：東京大学駒場キャンパス 18号館コラボレーションルーム3

使用言語：フランス語(レジュメ日本語訳配布・日本語による質疑応答も可) | 事前申込不要 | 一般聴講歓迎

主催：東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻・桑田光平研究室

共催：東京大学教養学部・表象文化論研究室

問い合わせ先：kkuwada@chora.c.u-tokyo.ac.jp